

(様式3)

事業所名:ほっとハウス信濃ときわの家

## 目標達成計画

作成日: 令和6年3月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	重度化してきている中で、個別の外出支援が課題となっている。	車椅子の方でも気軽に外出ができる。	①気温や天気に応じて、外出できそうな時は近隣の散歩にお誘いする。 ②散歩や外出ができる体力を維持するために、体操など体を動かす時間を設ける。 ③3か月に1度はドライブを計画し実行する。	12ヶ月
2	2	近隣との関わりが十分ではない。コロナ以降お互いに迷惑をかけないようにという思考から、関係性が持てていない現状がある。	地区の行事に参加する(施設の行事に参加いただく)。	①参加できそうな地域行事を知る。 ②自治会長や、常会長と協力し合いながら、避難訓練、お祭りなどへの相互参加を検討する。 ③保育園、小学校に出向き、行事への相互参加を検討する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。